

こんなとこ やつてます!!



さまざまな施設に設置されている食協文庫

津島食品衛生協会では、支所の活動をこれからも長く続けられるように、食品衛生指導員活動の方法を見直しました。より中身の濃い巡回指導ができるようになつたと、新たな活動を紹介します。

食協事業 愛知県支部 津島支所編

長く続けられる支所活動を目指して 《令和6年度食品衛生指導員活動優秀支部・支所表彰受賞》

津島支所はこんなところ

(一社) 愛知県食品衛生協会津島支所は、愛知県尾張西部地方に位置し、津島保健所管内4市2町1村で構成され、有名な戦国武将を多く排出した地域でもあります。

津島市は、日本三大川まつりの一つに数えられる「尾張津島天王祭」があります。約600年の伝統を誇り、全国の数ある夏祭りのなかで、もつとも華麗なものと言われています。また、支所管内の蟹江町にも約400年の歴史をもつ「須成祭」があります。津島支所が誇る、この歴史のある二つの「祭り」は、平成28年にユネスコ無形文化遺産の「山・鉢・屋台行事」を構成する33の祭りに登録されました。

長く続けられる 支所活動を目指して

津島支所も食品衛生指導員（以降、指導員）の高齢化が進んでいます。新人指導員のなり手が見つからないなか、どのようにしたら現役指導員が長く続けられ、



支所ホームページやSNSをチラシで案内

また、新人指導員を迎えることができるかを考えはじめたときには、新型コロナウイルス感染症が流行しました。ただでさえ、1000を超える会員に検便容器を配布するのはたいへんなのに、外出も規制され、不安な時期でした。支所では、分会から前回、指導員が配布していた数の情報を集め、事務局からの郵送に変更することで、指導員の負担を軽減できました。各分会での検便提出当日は代金の授受など、忙しくなる場面もありますが、提出時に次回の検便容器の郵送希望数を記入いただくことで、現在はスムーズに進んでいます。

会員向け情報発信も支所から分会、分会から指導員へと経由していましたが、

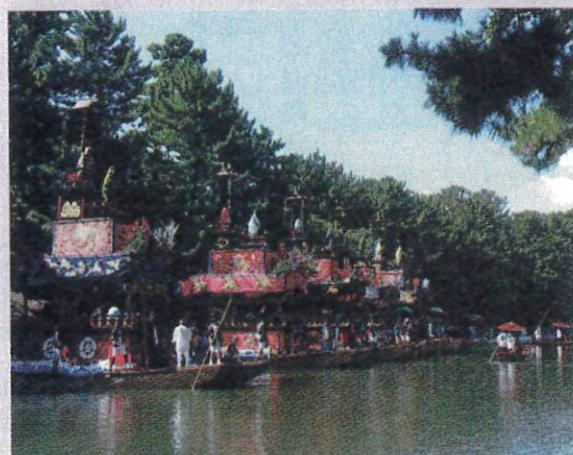
津島支所が誇る祭り



須成祭 朝祭



須成祭 宵祭



尾張津島天王祭 朝祭



尾張津島天王祭 宵祭

支所ホームページへの掲載や、公式SNSアカウントの開設により、会員へ周知する方法を増やし、活動報告や研修情報、食中毒警報等、緊急時の注意喚起を迅速に伝えることが可能になりました。

また、会報「食協あいち」や「支所だより」なども、従来は指導員が配布していましたが、事務局からの郵送に切替えました。

指導員の負担を軽減した結果、現役指導員からは、より中身の濃い巡回指導ができると意欲的な声が聞かれ、令和6年度は6人、令和7年度は5人の新人指導員を迎えることができました。

図書の配布

食品衛生の知識向上を目的として、図書館や保健センターなど、管内のさまざまな施設に「食協文庫」を設置していたいただきました。ここでは、食品衛生やHACCPに関する専門書・パンフレットを揃え、自由に閲覧できるようにしています。日本食品衛生協会の折りたたみ式リーフレット「細菌・ウイルスを知つて、食中毒を防ごう！」をポケットティッシュ

シユに差し込み、自由に持ち帰れるよう
に設置しています。

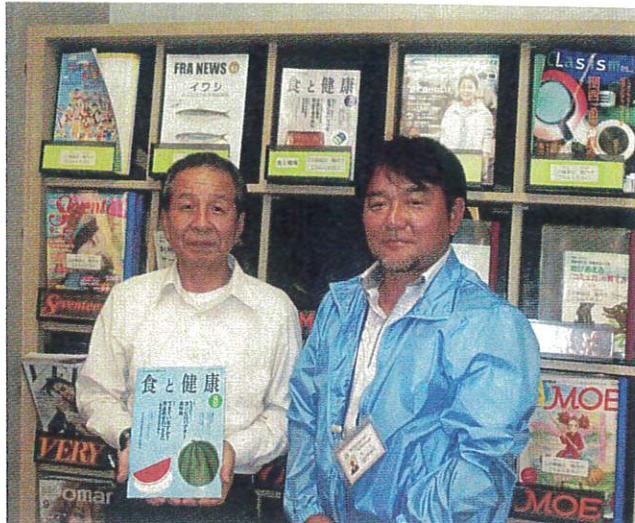
指導員活動の充実

8月の食品衛生月間には、食中毒予防
キャンペーンを実施しています。スー
パーや商業施設等でのぼり旗を掲げ、食
中毒予防の3原則「菌をつけない・ふや
さない・やつつける」を呼びかけるうち
わ300本をティッシュとともに保健所
職員と配布し、食中毒予防を啓発しまし
た。

指導員同士の交流と育成

会員事業者への巡回指導では、HAC
CPに関する基本的な指導や衛生管理の
サポートを行っています。

また、冬には「ノロウイルス研修会」
を開催し、指導員を対象に感染予防策や
手洗いの実践方法について講習を行って
います。



指導員同士の風通しをよくし、ネット
ワークを広げるため、定期的に懇談会を
開催しています。日頃の課題や疑問を気軽
に相談できる場をつくり、相互理解を深めています。さらに、指導員のスキル
向上を目的として、研修会を実施し、ほ
かの地域の食品衛生協会や先進的な衛生
管理を行う施設を訪問しています。これ
らの研修や講習を通じて得た知識を指導
員活動に活かせるようにしています。

津島支所としては、地域の食品衛生向
上を目的に、時代に合わせた取組みを推
進し、今後も食の安全・安心を守るための
活動を継続していきたいと思っています。